



1月給食だより



令和5年1月号
杉並区立高井戸第四小学校
校長 加納 直樹
栄養士 佐藤 由佳

あけましておめでとうございます。今年も、子供たちに安全でおいしい給食を届けられるよう、給食室一同、努力してまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

休み明けは、生活リズムがくずれがちです。朝・昼・夕の3食をしっかりとり、早寝・早起きなど生活リズムを整え、元気に登校しましょう。

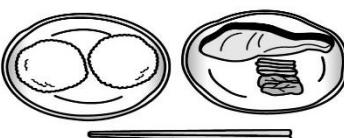
1月24日から1月30日は、全国学校給食週間です。

学校給食の歴史を振り返ってみましょう!



給食は、明治22(1889)年に山形県鶴岡市で始まりました。「全国学校給食週間」は、戦後、アメリカの支援団体からの援助により、学校給食が再開されたことを記念して定められたもので、学校給食の意義や役割について理解を深め、関心を高めることを目的としています。

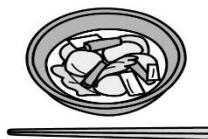
明治 22年 (1889年)



[おにぎり、焼き魚、漬物]

やまかけん しりつちゅうあいしょ
山形県の私立忠愛小学校で、お弁当を持つてこられない子どものために食事を提供したのが、日本の学校給食のはじまりとされる。

昭和 17年 (1942年)



[すいとんのみそ汁]

しょうわ ねん たいへいようせん
昭和16年に太平洋戦争が始まると、食料が不足し、全国的に給食が中止され始める。
昭和19年に6大都市の小学生に特別配給による学校給食が実施される。

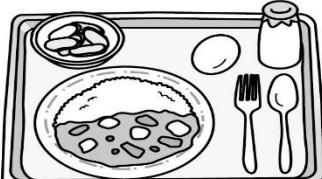
昭和 25年 (1950年)



[コッペパン、ミルク (脱脂粉乳)、カレーシチュー]

アメリカから寄贈された小麦粉で8大都市の小学生に「パン・ミルク・おかず」の完全給食が実施される。

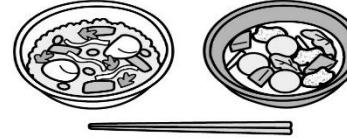
昭和 51年 (1976年)



[カレーライス、牛乳、塩もみ、ゆで卵]

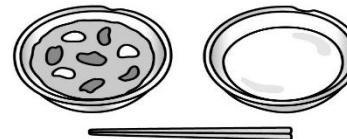
米飯(ご飯)が正式に導入される。当初は炊飯するための設備が整わず、おかずを作る金でご飯を炊く施設が多かつた。

大正 12年 (1923年)



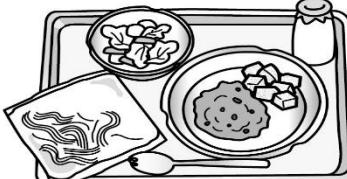
[ごしきごはん、栄養みそ汁]

昭和 22年 (1947年)



[ミルク (脱脂粉乳)、トマトシチュー]

昭和 40年 (1965年)



[ソフトめんミートソース、牛乳、フレンチサラダ]

そして、現在は…

子どもたちの食習慣の乱れ、偏った食事による肥満や生活習慣病の増加が心配されることから、学校給食は、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけるために、さまざまなことを学ぶ「生きる教材」としての役割を担っています。

1月の献立から

★鏡開き

11日(水) : 小豆白玉

11日(水)は、鏡開きの日です。お供えしていた鏡もちをさげて、もちを雑煮やおしるこにして無病息災を祈ります。



★全国学校週間(1月24日～30日)

24日(火) : くじらは戦後に登場し、昭和30年代～40年代の給食にはよく登場した食材です。揚げたくじらに甘辛だれをからめて提供します。

25日(水) : 完全給食が実施され始めた昭和25年頃、給食の主食のほとんどがパン(食パンかコッペパン)でした。今ではさまざまな調理パンを提供しています。今回の揚げパンは、黒砂糖パンを使用しています。

26日(木) : 日本で初めての給食は「おにぎり・塩鮭・漬物」だったそうです。

27日(金) : 昭和40年頃にはソフトめんにミートソースやあんかけなどをかけて食べていました。ソフトめんは、うどんとスパゲッティの間のような麺です。

28日(土) : 昭和51年頃から米飯給食が開始され、カレーシチューからカレーライスに変化しました。それまでの主食はパンでした。



かがみ さ かみさま さ
鏡もちを下げて、神様のお下がりとして
ぞうに しるこ い
お雑煮やお汁粉などに入れていただき、
ねん むびょうそくさい ねが ぎょうじ そな
1年の無病息災などを願う行事です。お供
もののは
え物に刃をかけてはいけないという習わ
しから、手や木づちなどで割ります。また、
わ えんぎ わる ことば
「割る」は縁起の悪い言葉なので、縁起の良
ひら ことば つか
い「開く」という言葉を使います。



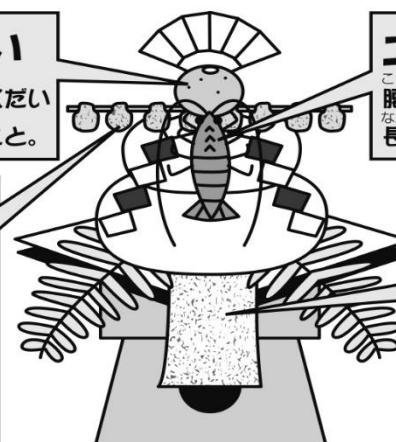
かがみ かがみ びら 鏡もちと鏡開き

かがみ しょうがつ かみさま そな だいしょに だんがさ
鏡もちは、お正月に神様にお供えするための大小二段重
まる かがみ かざ りょうり おな
ねの丸いもちです。鏡もちの飾りには、おせち料理と同じ
えんぎ た もの つか ように縁起をかついた食べ物が使われます。

だいだい
しそん 子孫が“代々(だい)
だい”続くこと。

エビ
こし ま 腰が曲がるまで
ながい 長生きすること。

くし がき 串柿
ほ くし 干し柿を串に
さ 刺したもの。
かき 「嘉来」の字を
じ あ 当てて、喜び
く が来るという
いみ 意味。



こんぶ
昆布
“よろこぶ”的
ごろあ語呂合わせ。

